

リスクアセスメント導入支援サービス

- デンソーウェーブが設計・製作したロボットシステム運用時におけるリスク分析から評価、リスク低減方策のご提案まで、一連のリスクアセスメントを支援

リスクアセスメントとは？

事業者が自主的に、設備や作業等で発生する危険性又は有害性等の調査を行い、必要に応じて対策の検討・実務を行うこと

※労働安全衛生法第28条の2第1項で努力義務として規定

協働ロボットを使用した設備に対するリスクアセスメントは、**設備使用者での実施が必要**にもかかわらず、適切に実施できていない

リスクの見積、リスク低減措置を適切に実施できている事業場は約30%に留まっており、多くの事業者が運用上の課題を抱えている状況

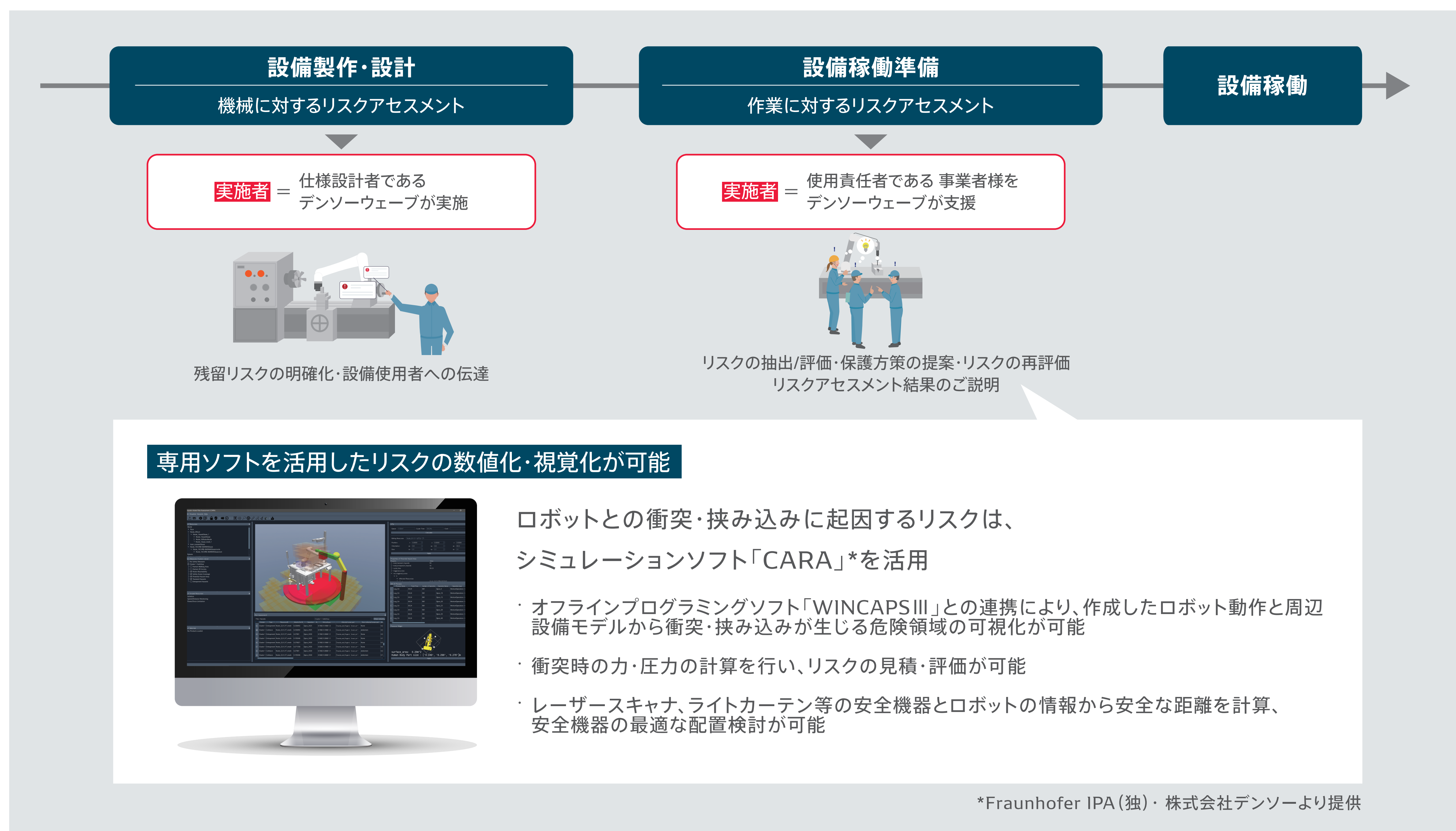
引用元) 令和3年度厚生労働省補助事業 厚生労働省によるリスクアセスメント指針 (3 指針)に関する研修等の実施状況と事業場における当該研修等の活用状況に関する 調査研究報告書



サービス内容

リスクアセスメントは設備製作者が実施する機械RA*と、事業者が実施する作業RA*の2種類に分けられるが、デンソーウェーブでは機械RA*に加え、事業者様の作業RA*を支援し、設備稼働に必要なリスクアセスメントを一括サポート

*RA: リスクアセスメント



サービス利用のメリット

- | | | |
|-----------|-------------------------------|--|
| メリット
1 | 設備設計者をご対応・直接相談可能 | 設備製作者であるデンソーウェーブが、ロボットの安全機能を有効活用しながら、作業RAをご支援
対応窓口を一本化することで設備製作から設備稼働準備までを一貫してサポート |
| メリット
2 | リスクアセスメントをご支援
作業RAシートをご提出 | 作業RAとして、作業内容の整理・危険源の調査からリスク分析や評価、リスクの低減方策のご提案、
リスクの再評価を実施。リスクアセスメントの結果は作業RAシートに記載してご提出 |
| メリット
3 | 設備設計者と取り組むことで
社内のRAの理解が深まる | 作業RAの結果を実設備と共にご説明。企業のリスクアセスメント担当者は、リスクアセスメントに対する
知見の蓄積ができる上、作業RAの結果を踏まえ、残留リスクを考慮した作業要領書の作成が可能 |